

科目名	人体の構造と機能及び疾病						
Course Name	Human Body Structure,Function,and Illness						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	和田晴美						
連絡先(質問等)	福祉棟2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは教員より説明する。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)、社会福祉主事任用資格に係る科目						
関連 DP	DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>この授業では、日頃何気なく営んでいる生活行動は、「からだ」がどのように機能してなされているかという点に着目する。まず人間の成長と発達から始まり、正常なからだの構造と機能を理解したうえで、生活障害に繋がる疾病や障害について学ぶ。</p> <p>①人の成長と発達の段階と特徴を、説明できるようにする。  ②人体を構成する臓器の名称、構造、機能を説明できるようにする。  ③からだの構造や機能と、日常生活行動の関連を説明できるようにする。  ④疾病と障害の原因、症状、治療方法(障害は留意事項や対応方法)を列挙できるようにする。</p>						
授業の方法	講義中心であるが、人体構造の理解を深めるために教室内でできる小実験を行う。「疾病の概要」は分担して、個人による学習(課題の調査、資料作成、発表)を行い、ディスカッションを通して重要事項の共通理解を深めることとする。						
学習成果	L01	人の成長と発達、老化の過程や人体の構造と機能の概要を説明することができる。					
	L02	疾病や障害の概要をふまえ、対応時の留意点を明確にすることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業に関するクイズを出し、授業内でクイズの解答がわかるように進める。						
教科書/参考図書	①新・社会福祉士養成講座 第1巻 人体の構造と機能及び疾病 中央法規出版 ②坂井建雄著 ぜんぶわかる人体解剖図 成美堂出版						
履修上の留意点やルール等	この科目は「社会福祉士国家試験」受験における必修科目である。また、社会福祉主事任用資格の該当科目でもある。講義・文献調査ともに積極的に参加することを望む。欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	評価基準Sは、授業への準備(テキスト、ノート等)をし、授業中必要なことはノートにとり、積極的に参加していること。	10			
レポート/作品	「疾病の概要」について文献調査し、レポートにまとめる。評価基準Sは、課題をよく理解し、必要な文献を調査精読していること。他の人にも理解しやすい資料を作成し、期限を厳守して提出すること。	20			
発表	分担された課題について調べた内容を発表する。評価基準Sは、発表が分かりやすく、他者をひきつけるような内容である。わからないことは理解できるまで検討している。質問に対して的確に答えられる。		10		
小テスト					
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや、語群からの選択問題、穴埋め問題等。	20	40		

その他					
<b>合 計</b>		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 人の成長と発達①
	事前・事後学習	自分の出生時の身長と体重、1歳までの発達を親に聞きプリント記載。
2	授業内容	人の成長と発達② 発達課題
	事前・事後学習	発達課題(エリクソン)の各期をノートに転記し、自分に当てはめて考え記載する。
3	授業内容	図書館で文献調査 担当した病気について ①概要 ②症状 ③診断・検査 ④治療 ⑤予後 ⑥留意点等をまとめる
	事前・事後学習	発表に向けて、文献調査、資料作成を行う。
4	授業内容	心身機能と身体構造の概要① 人体各部の名称(筋、骨、関節) <実験 随意運動>
	事前・事後学習	人体の骨の名称、筋肉の名称を調べ、記載する。第3回の課題を引き続き行う。
5	授業内容	心身機能と身体構造の概要② 動く 体内の循環
	事前・事後学習	心臓の構造、体循環・肺循環の図を書く。第3回の課題、資料提出の準備をする。
6	授業内容	心身機能と身体構造の概要③ からだを守る 息をする
	事前・事後学習	肺の解剖図を書き、名称を記載する。
7	授業内容	心身機能と身体構造の概要④ 食べる トイレに行く 見る・聞く・感じる <実験 盲点、利き目を調べる、痛点を調べる>
	事前・事後学習	2日間の食事を記載し、栄養バランスの評価をする。
8	授業内容	心身機能と身体構造の概要⑤ 考える ホルモン調整とストレス
	事前・事後学習	次回発表に向けて、発表資料を準備する。
9	授業内容	疾病・障害の概要① 生活習慣病 悪性腫瘍 脳血管疾患 心疾患
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
10	授業内容	疾病・障害の概要② 内分泌系疾患 呼吸器系疾患 血液系疾患
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
11	授業内容	疾病・障害の概要③ 消化器系疾患 腎・泌尿器系疾患 骨・関節系疾患
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
12	授業内容	疾病・障害の概要④ 感覚器系疾患 感染症 神経系疾患と難病 先天性疾患
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
13	授業内容	疾病・障害の概要⑤ 知的障害 発達障害 精神障害 認知症
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
14	授業内容	疾病・障害の概要⑥ 肢体不自由 高次脳機能障害 内部障害
	事前・事後学習	発表された疾患の特徴と補足事項をノートに整理して記載する。
15	授業内容	国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方 リハビリテーションの概要 授業のまとめ
	事前・事後学習	試験準備。